

平成 22 年度 環境安全技術系活動報告

熊澤 正幸

工学系技術支援室 環境安全技術系

22年度環境安全技術系は、課長1名、課長補佐（班長兼務）1名、班長1名、班員10名で構成され、昨年より退職1名、新規採用1名の異動があった。

環境安全系の実施業務

環境安全技術系の多くの職員は、Co-60 照射施設、環境安全管理室、放射線管理室、核燃料計量管理室、全学核燃料管理室、災害対策室よりの依頼で常駐的業務実施を行っている。

常駐を主業務としない職員は、化学薬品管理システムサーバ管理、6系機械工作室機械管理、建築系学科・社会基盤工学分野・電子工学分野の学生実験等の年間依頼業務に携わっている状況で、全学・工学部・学科の共通業務への貢献割合が多い、前年比較で業務量の変化は少ない状況である。また他系職員の協力により環境測定等を実施している現状の変化はない。

本年度開催された委員会、講習会・技術発表等について以下に列記する。

1. 系専門委員会

系専門委員会は教員5名、技術系職員3名で構成され、22年度は1回の開催を行った。

日時：平成22年10月8日

内容：環境安全系技術職員の後補充計画について検討等を行った

2. 講習会・技術発表等

環境安全系技術講習会（9月28日開催）

題目：大学等の放射線施設における作業環境測定の実態について

講師：釣田幸雄 技術専門員

系研修（6月～12月）

題目：監視カメラによる環境保安設備の遠隔監視の可能性

参加者：松浪有高、後藤光裕、佐藤絢子、熊澤正幸

名古屋大学技術研修会（平成23年3月開催）

題目：監視カメラによる環境保安設備遠隔監視の可能性

発表者：松浪有高

題目：省エネ活動の現状

発表者：熊澤正幸

熊本大学総合技術研究会（23年3月開催）

題目：液体窒素管理業務の省略化とwwwカメラによる遠隔管理の検討

発表者：後藤光裕、佐藤絢子、松浪有高、熊澤正幸

出張報告会（9月28日開催）

題目：26回大学等環境安全協議会（分科会）参加報告

報告者：松浪有高